

漁業の取り組みについて ～ナマコ資源増大に向けて～

上ノ国町におけるナマコの漁獲量については、平成18年を境に急激な増加を見せています。その要因としては、急速な経済成長に伴い富裕層が増加している中国への出荷が増えていることが挙げられます。また、檜山産のナマコは、高品質で海外では高級品として取り扱われているのが魅力です。

平成24年のナマコ漁獲量は19 t、漁獲額で6,511万円となり、全魚種の中で2位（16%）を占めている状況にあります。

この貴重な資源を長期にわたり確保するため、資源状況の管理はもとより、放流事前調査や放流後の追跡調査を行うことが必要であると考え、適切な種苗放流と効果の検証をひやま漁協や関係機関と連携し継続的に実施して、効率的で安定した漁獲を目指しています。

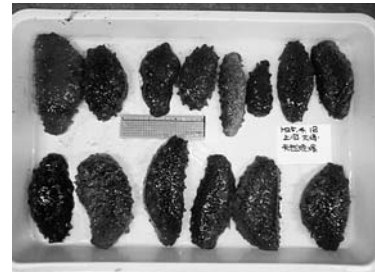
漁船漁業の落ち込みを補完する浅海漁業への対策にも力を入れてきた中で、平成23年までに15万尾以上の種苗放流を実施してきたことや、全漁業者で組織する「上ノ国ナマコ資源増養殖協議会」に対し、町内のナマコ種苗生産会社で生産された大型稚ナマコ種苗年間50万尾の購入費用を全額補助し、資源増大の取り組みに支援しているところです。

また、漁業の活性化を図るため、漁業者と協働して「上ノ国町漁業大会」を本年2月に開催し、新しい漁獲方法や今後の取り組みなどを模索することで漁業の活性化を一体となって目指すことを再確認したところです。

これらの取り組みを達成するためには、「漁業者自らが漁業への意欲を高めて、元気を取り戻し、海へ出て漁をする」という原点に立ち返って努力することが必要不可欠であるとの考えで一致したことから、漁家経営が安定して営めるよう、様々な支援を進めてまいります。

ナマコ漁獲量の推移（ひやま漁協上ノ国支所分）

	漁獲量	金額		漁獲量	金額
平成17年	1.0 t	142万円	平成21年	15.2 t	5,267万円
平成18年	15.6 t	4,102万円	平成22年	18.0 t	9,366万円
平成19年	21.0 t	6,521万円	平成23年	16.6 t	8,700万円
平成20年	6.7 t	1,970万円	平成24年	19.1 t	6,511万円



事前調査で採捕されたナマコ



事前調査の様子



放流された大型ナマコ種苗



放流作業の様子（平成24年度）

★有料広告

医療法人社団 陵仁会

えんどう桔梗 マタニティクリニック

産科・最新4D超音波・婦人科他（産前・産後の教室も充実）

【診療時間】	日(第2・4)	月	火	水	木	金	土
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●	●
午後(14:30~18:00)	休診	●	●	手術日	●	●	休診

休 診 日曜(第1・3・5)・祝祭日

【診療科目】産科・婦人科 **小児科隣接**

院長 遠藤 力 副院長 白戸 智洋

分娩室増築中の為(8月完成予定)
ご迷惑おかけして申し訳ありません。

7月の日曜診療は、
14日・28日になります。

随時福祉ハイヤーの送迎可(特別料金半額にて)。
福祉ハイヤー TEL.090-7654-5554

入院設備完備

初診の方でもPC、携帯、スマートフォンから24時間外來事前受付、分娩希望受付可。
問診票ダウンロード可。予約なしの来院可。
ホームページ内のメールフォームからの質問は24時間可。

函館市桔梗5丁目7-15
(桔梗駅前通り中の沢小学校前)

TEL(0138)47-3001

